

平成30年度 一人一人の確かな学力向上のために 2年

		学年の目標	2学期末の児童の様子	3学期末の児童の様子
基礎・基本	国語	<ul style="list-style-type: none"> 出来事の構成を考えて文章を書くことができるよう、主語・述語の関係が成り立っている文を書くこと、既習の漢字を使って書くことを重点的に指導します。日記の宿題を週1回行います。 漢字の定着を図るために、単元ごとのミニテストを実施し、学期末には9割の児童が漢字テスト90点以上とれるようにします。 音読は授業の始めや毎日の宿題で繰り返し行うことで、声の大きさ、語のまとまり、登場人物の気持ちに気を付けて読むことができますようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> 「はじめ」「中」「終わり」の構成を学習し、それを意識して文を書いている児童が増えてきています。平仮名、カタカナの書き間違い、既習の漢字を使っていないことも見られるので、日記指導を通して、気を付けさせていきます。 漢字は5割の児童が90点以上の点数を取っています。ノート、日記など日頃から活用している児童は間違いが少ないです。 音読は、「かさこじぞう」の音読発表会などを通して、登場人物の気持ちを考えて読むことができました。語のまとまりや意味を理解すれば読めるので今後も意識させていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 順序を表す言葉を学習し、それを意識して文を書いている児童が増えていきます。平仮名、カタカナの書き間違い、既習の漢字を使っていないことも見られるので、日記指導を通して引き続き気を付けさせていきます。 漢字は8割の児童が90点以上の点数を取っています。日頃から活用している児童は間違いが少ないです。 音読は、「アレクサンダとぜんまいねずみ」の学習を通して、登場人物の気持ちを考えて読むことができました。語のまとまりや意味を理解すれば読めるので今後も意識させていきます。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> 九九を全員が唱えられるように、上り10秒以内に唱えるテストを全員が合格するまで行います。最終的には、9割の児童が九九を1分30秒以内に唱えられることを目指します。 量や測定、図形については、算数的活動を取り入れて視覚的にわかりやすくするとともに、日常生活でも活用することで定着を図ります。授業前に既習事項の確認を行い、定着を確認します。補習タイムに東京ベーシックドリルや計算ドリルの問題を活用して、1年生までの基礎的な学習内容の習得を目指します。学期ごとに行う定着問題では、9割の児童が80点以上とれるようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> 九九は、現在学習中で、3割程度の児童がすべての段を暗唱して言うことができている。授業時間に毎回練習すること、検定の時間を確保して言える段を増やしていき、学年末には全員が言えるように指導していきます。 長方形や正方形など名前と形をとともに出すことや、身の回りにその形が出てくると名前や定義を確認することで、理解が深まりました。 学年全体での1年生の診断テストの正答率は88%です。個人差はまだあります。特に文章問題が弱いので、繰り返し問題を解きながら確実に解くことができるようにさせます。 	<ul style="list-style-type: none"> 九九は、9割程度の児童がすべての段を暗唱して言うことができている。ご家庭でも言っているかの確認をお願いします。 長さの単位の学習では実際に1mものさしを使って物の長さを測るなど、身の回りある物と関連させながら名前や定義を確認することで、理解が深まりました。 学年全体での1年生の診断テストの正答率は90%です。個人差はまだあります。特に文章問題が弱いので、繰り返し問題を解きながら確実に解くことができるようにさせます。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 生活科では、動植物に触れ合うこと、町探検を通して近隣の施設や様子について知ることなど体験を通して学習を進めていきます。事前事後の指導では、学校図書館を利用し、図鑑等を使って調べ学習を行います。 子供たちにあった本や教科と関連した本を紹介し、読書に親しめるとともに、年間100冊の読書目標を掲げ、読書活動に取り組んでいきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 葛西臨海水族園での魚調べ、町探検でのインタビュー等を通して知識を深めています。また、読書科とも関連し、調べ学習も行っています。 読み語りや朝読書の時間などを使って全員が集中して本を読んでいます。すでに50%の児童が100冊の本を読んでいます。内容が長い本を読む子も出てきています。 	<ul style="list-style-type: none"> 「あしたへジャンプ」では、自分の成長を振り返り、まとめることを通して自己理解を深めています。 読み語りや朝読書の時間などを使って全員が集中して本を読んでいます。すでに80%の児童が100冊の本を読んでいます。ページ数が多い本を読む子も出てきています。
力・判断力	思考力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> 各授業の学習のめあてや課題を明確にします。課題を解決するための教材や場を用意して視覚的にわかりやすくしたり、体験的に学習できるようにしたりします。 各時間で自分の考えをもたせる場面を設定します。また、自分の意見が書けるように「図」「表」「絵」などでかくことも指導していきます。自分の考えをペア、グループ、全体で交流することで、自分の考えを広げたり、深めたりできるようにしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 1学期に比べ、自分たちでめあてを決めたり、課題を解決するために図や絵を使って説明したりする姿が見られました。 国語では、登場人物の絵を描いたり、算数は絵や図など工夫して書くことを心がけることで、理解が深まってきています。交流タイムを通して、85%の児童が、考えが広がったり深まったとアンケートで回答していました。 	<ul style="list-style-type: none"> 2学期に比べ、自分たちでめあてを決めたり、課題を解決するために図や絵を使って説明したりする姿が見られました。 国語では、順序よく伝えられるように接続語を使って文を書くことや、算数は絵や図など工夫して書くことを心がけることで、理解が深まってきています。
	学習習慣	<ul style="list-style-type: none"> 宿題の提出率100%を目指します。 ノートは、課題と振り返りがわかるように指導していきます。 次の学習の準備とチャイム着席の習慣化を目指します。一日の流れを掲示し、見通しをもたせるとともに、準備ができている児童を称賛、児童同士で声を掛け合うことで100%の定着を目指します。 家庭学習では、学年×15分以上行うように声掛けをします。 	<ul style="list-style-type: none"> まだ100%にはなっていません。2割程度の児童が提出されていません。前日に準備するように声掛けしていきますが、家庭でも準備の仕方の確認をお願いいたします。 めあてやまとめ、1時間の流れがわかるように、また、見開き1ページになるように心掛けています。 次の学習の準備とチャイム着席は5割の児童ができている現状です。声掛けを引き続き行うこと、時間を意識させることで、学年末までに100%できるようにします。 家庭学習期間のノートを見ると90%の児童ができています。これからも引き続きご協力をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> まだ100%にはなっていません。1割程度の児童が提出されていません。前日に準備するように声掛けしていますが、家庭でも準備の仕方の確認をお願いします。 めあてやまとめ、1時間の流れがわかるように、また、見開き1ページになるように心掛けています。 次の学習の準備とチャイム着席は8割の児童ができている現状です。声掛けを引き続き行うこと、時間を意識させることで、学年末までに100%できるようにします。 家庭学習期間のノートを見ると95%の児童ができています。これからも引き続きご協力をお願いします。